

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 一般科目理系 教授 西田 博一

| 項目 | 取組状況 |
|------|--|
| 教育 | <p>◆ 平成28年度担当科目 化学1（1年）、環境科学概論Ⅰ（2年）、特別研究（3年後期）、一般科学（4年前期）</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） 化学1では、適時実験や探究活動を行わせ、科学的に探究する姿勢を身につけさせている。また、演習や課題、小テストを実施し、基礎的原理の理解の定着を図っている。 環境科学概論Ⅰでは、便宜上高校「地学基礎」の検定教科書を用いているが、内容的には不足する部分が多い。本校は工科系の学校であるので、一般的な環境問題や防災の啓発で終わらせるのではなく、それらの解決のための技術も教えておきたい。そういった不足する部分については、独自の教材を用意して補っている。 特別研究のねらいは、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせることにあるので、学生の興味関心からテーマを選定させ、探究活動を行わせている。 一般化学の前期では、化学工学の基礎である物質収支と熱収支を教え、日常的な様々な課題が物質収支と熱収支の考え方で解けることを、課題演習を通じて身につけさせている。</p> <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例 化学1の探究活動に、アクティブラーニングの手法を取り入れる工夫を始めた。</p> <p>◆ 校長顕彰などの受賞 地域貢献、小中学校への公開講座(出前授業)で校長顕彰を受賞。</p> |
| 社会貢献 | <p>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況 公開講座「子と親の楽しいかがく教室」で「お風呂の入浴剤」を担当している。毎年11月に二日、3月に一日の計三日間行っている。平均して年間70組前後の参加がある。</p> |